

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和5年10月2日（月）

### 2 確認箇所

多核種除去設備等処理水測定・確認用設備（K4タンクエリア）、移送設備（多核種移送設備建屋）、希釈設備（5・6号敷地護岸ヤード）

### 3 確認項目

多核種除去設備等処理水第2回放出第1段階の準備状況

### 4 確認結果の概要

多核種除去設備等処理水（以下、「ALPS処理水」という。）の初回放出は、測定・確認用タンクB群を対象に、8月24日から9月11日にかけて実施され、初回放出完了後に実施されたALPS処理水希釈・放出設備の点検作業により設備に異常がないことが確認されている。また、本年6月に採取された測定・確認用タンクC群の分析については、外部機関の分析を含めて国の放出基準を満足していることが確認されており（9月21日東京電力公表）、東京電力では、第2回目の放出を測定・確認用タンクC群を対象に、初回と同様な方法で実施することとしている。本日は、放出前の準備作業として、ALPS処理水移送配管内をろ過水からALPS処理水に置換する作業が行われたことから、作業状況について確認を行った。（図1）

・本日の作業概要は以下のとおりである。

➢測定・確認用タンクC群に貯留しているALPS処理水をALPS処理水移送配管に移送するための系統構成を行う。

➢処理水移送ポンプを起動し、ALPS処理水移送配管内をろ過水からALPS処理水に置換する作業を行う。

・今回は、処理水移送ポンプ（B）を使用して置換作業が行われた。

#### ア 系統構成及び処理水移送ポンプ起動の状況

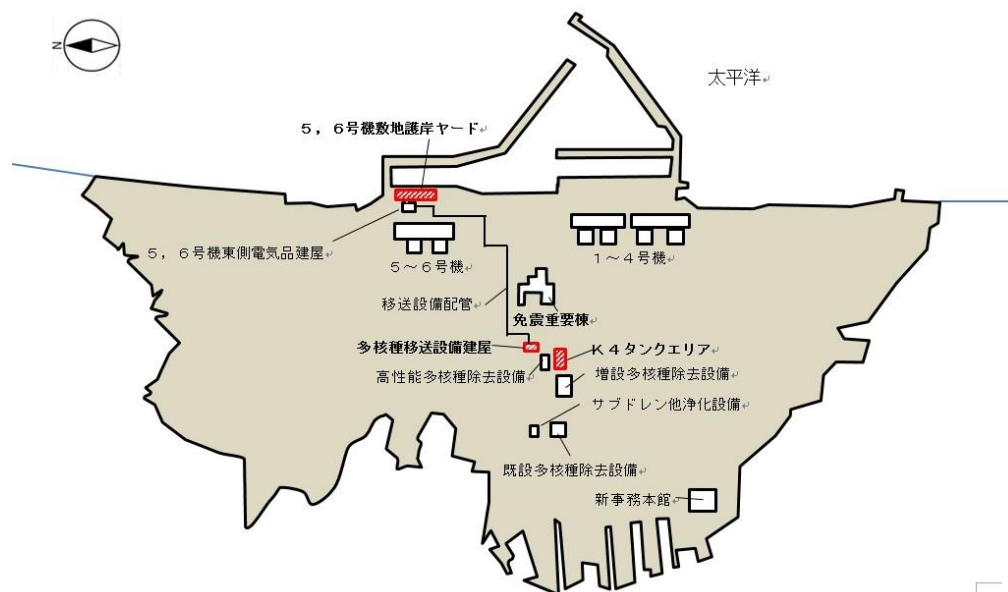
・K4タンクエリアにおいて免震重要棟集中監視室と連絡を取り、操作手順書に従い複数人で指差呼称による確認を行いながら、弁の状態確認や手動操作を進めていた。（写真1）

・多核種移送設備建屋において免震重要棟集中監視室と連絡を取りながら、処理水移送ポンプ（B）及び周辺移送配管等について起動前及び起動後の状態確認を行っていた。（写真2）

・移送ポンプに振動や異音等特に異常は認められなかった。また、移送ポンプ周辺の配管に漏えい等の異常は認められなかった。

イ ALPS処理水移送配管内ろ過水の受入れ状況

- ・置換作業によりALPS処理水移送配管から押し出されたる過水は、5, 6号機敷地護岸ヤードに設置された処理水移送受けタンクに排出され、さらにエンジンポンプにより同敷地内のノッチタンク（3基）に移送されていた。（写真3）
- ・処理水受けタンク及びノッチタンク周辺では漏えい等の異常は認められなかった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)  
C1タンク出口弁（ゲート弁）の開  
操作の状況



(写真2)  
処理水移送ポンプ（B）起動後の状  
態確認の状況



(写真3)  
処理水移送受けタンクの状況

- 5 プラント関連パラメータ等確認  
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。